



サービスナビゲーションシステムは、公益社団法人企業情報化協会が主催する「平成30年度IT賞」において、介護業界の未来を変化させる可能性のあるシステムとの評価を受け、「ITビジネス賞」を受賞しました。

(株)ベネッセスタイルケア
執行役員
サービス推進本部
本部長
祝田 健

(株)ベネッセスタイルケア
介護IIエリアカンパニー
東京Iエリア事業本部
サービスナビゲーション
システム研修担当
原田 武将

Focus **3**

要介護者の
増加を見据えて

サービスナビゲーションシステムの導入

ベネッセメソッドで 介護現場の未来を変える

システム開発の根幹にあるのは 「介護はクリエイティブな仕事」という信念

ベネッセスタイルケアは、介護現場のサービススタイルを変革する介護・看護記録プラットフォーム「サービスナビゲーションシステム」を、2017年に自社開発しました。2012年に開発プロジェクトをスタートし、さまざまな検証を重ねながら、5年の歳月をかけて本格的に導入を開始。現在は、リレ2拠点を除き全国に約320あるすべてのホームで導入し、1万6,000名を超えるご入居者さまへのサービスに活用しています(2019年8月時点)。

サービスナビゲーションシステムの根幹にあるのは、「介護はクリエイティブな仕事」であるというベネッセスタイルケアの信念です。介護の仕事は、専門的な知識や技能を必要とします。そして、介護スタッフや看護スタッフ、ケアマネジャー、機能訓練指導員などがチームを組んで、ご入居者さまお一人おひとりが、その方らしい生活を送れるようサービスをつくり出していく仕事です。こうした信念があることから、開発にあたっては生産性の向上だけを

ゴールとするのではなく、介護サービスの質を高めていくツールとすることを最も重視しました。

大きな特長は、日々蓄積されるご入居者さまのケアに関するさまざまなデータをもとに、PDCAを回してこれまでになかったようなサービスを構築していける点であり、サービスナビゲーションシステムはまさに介護スタッフのクリエイティビティを加速させていくツールなのです。

スタッフの“気付き”と“行動”によって ご入居者さまのQOL向上を実現していく

これまで介護の現場では、フロアに記録用紙を保管し、そこにスタッフがご入居者さまのお名前や「食事」「水分摂取」などの記録を書き込んでいました。そのため、記録作業にも確認作業にも多くの時間をとられていました。これに対して、サービスナビゲーションシステムでは各フロアにあった情報を一元管理しているため、パソコンやスマートフォンでいつでも情報を閲覧・共有することが

できます。端末の画面にタッチするだけで実施したケアの内容を簡単に入力でき、ご入居者さまの状態はわかりやすくアイコンで表示されます。

ただし、このシステムは単にアナログだった作業をデジタルに置き換えることを目的としたものではありません。その名のとおり、「スタッフの業務をよりクリエイティブなものへと導く(=ナビゲーションする)」ことがシステム導入の意義で、スタッフの“気付き”を促し、“行動”を変えるきっかけとなることを目指しています。一定期間におけるご入居者さまの体重の変化や、お一人おひとりの留意点など、サービスナビゲーションシステムが知らせてくれる情報を踏まえてスタッフがサービスを行うことで、QOL(生活の質)の向上を実現していきます。



提供すべきケアがタイムテーブル上にアイコンで一覧化

ホーム内でのコミュニケーションから新たな“気付き”が生まれる

サービスナビゲーションシステムの導入により、ベネッセスタイルケアの介護の現場は大きく変化しています。例えば、スタッフ同士のコミュニケーションが従来以上に活発化し、そこから生まれた新たな気付きをスタッフ一人ひとりが実践につなげています。

サービスナビゲーションシステムの5つの特徴

- ①生産性向上
- ②コンプライアンス
- ③情報共有・連携
- ④ご入居者さまへの“気付き”の醸成
- ⑤事故再発防止

また、事故が起きた際に以後の再発防止対策をステップに沿って記録・検証する機能も備えており、事故の未然防止にもつながっています。介護保険上で必要な手続きとなるケアプランの更新時期もよりわかりやすくなりました。ご入居者さまの生活の状況やケアにおいて留意すべき事項が詳細かつ確実に記録できるようになったため、すべてのスタッフがその情報をいち早く共有し、より適切な対応を行っています。

もちろん、業務の生産性や効率の面でも効果が生まれています。記録用紙や申し送りを確認する時間などが削減され、情報の共有・連携もスムーズになっています。各スタッフは、こうした業務に使っていた時間をケア方法の見直しやご入居者さまと関わる時間に充てるなど、ホーム全体でサービスのさらなる改善・向上を図っています。

介護業界をあるべき未来へ導く推進役として

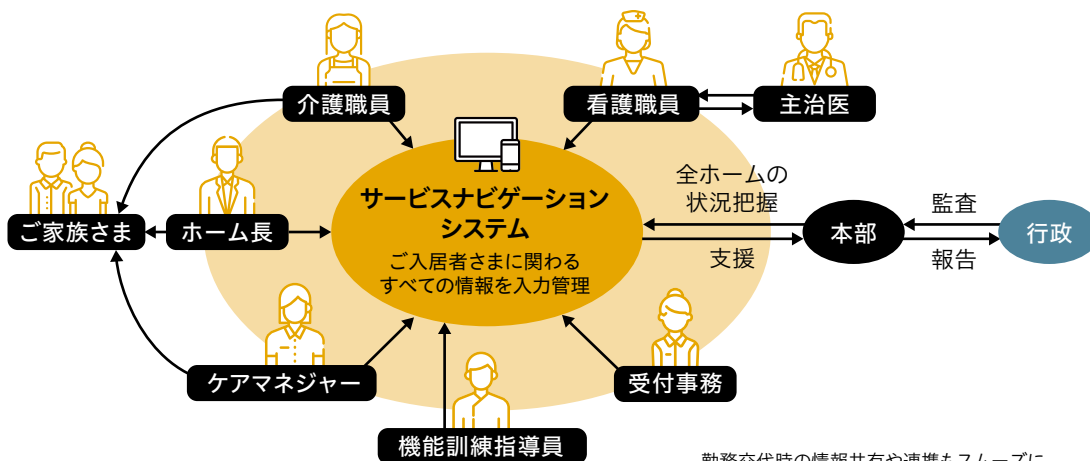
ベネッセスタイルケアは、ご入居者さまに寄りそい、その方が望む生活をサポートし続ける——そんな介護サービスのあるべき姿を追求するためのツールとして、今後もサービスナビゲーションシステムを進化させていきます。例えば、蓄積したデータを分析して、事故の削減を図っていく、他のITソリューションとつなげて介護業務の正確性や効率を上げるといった取り組みも進めていきたいと考えています。

介護業界をあるべき未来へ導くというビジョンを掲げ、サービスナビゲーションシステムの進化・活用を通じて、業界の推進役となっていきます。

▶ 本プロジェクトについてわかりやすく動画とHTML記事で紹介しています
<https://www.benesse-hd.co.jp/ja/ir/library/ar/2019/focus/service.html>



サービスナビゲーションシステムによる情報共有と職種連携



勤務交代時の情報共有や連携もスムーズに



スマートフォンで情報を確認・記入